

(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組実績

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	第 11 回身近な土木を描いてみよう! 図画コンクール
1. 実施時期・2. 実施場所 募集期間：平成 30 年 7 月～9 月 14 日 表彰式：平成 30 年 11 月 10 日 広島市まちづくり交流プラザ 平成 30 年 12 月 9 日 イオン松江店 作品展示：平成 30 年 11 月 2 日～11 日 広島市まちづくり交流プラザ 平成 30 年 11 月 16 日～28 日 土木学会(東京四谷) 平成 30 年 12 月 4 日～平成 31 年 3 月 17 日 広島県立図書館 平成 30 年 12 月 9 日 イオン松江店 平成 31 年 1 月 10 日～17 日 イオンモール鳥取北 平成 31 年 1 月 26 日～27 日 中国電力(株)岡山 エネルギープラザ 平成 31 年 3 月 5 日～3 月 17 日 中国電力(株)柳井発電所 3. 対象者 (参加者数) 応募校数：119 校、1113 枚 (内訳)小学校：95 校 800 枚 中学校：24 校 313 枚 4. 共催・単独等の状況 主催：公益社団法人土木学会中国支部 後援：国土交通省中国地方整備局・広島県・広島市・ 広島県教育委員会・広島市教育委員会・福山市教育委員会・呉市教育委員会 東広島市教育委員会・山口県教育委員会・鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会 島根県教育委員会・松江市教育委員会・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会 5. 事業等の内容 小学生、中学生に、身近な土木を描いた図画を募集し、審査会を実施して優秀作品を選定し、公共の場所により展示を行い、表彰式を実施します。優秀作品については次年のカレンダー印刷・配布を行い、土木の日の行事のPRも行う。応募者全員に粗品進呈。今年は、西日本豪雨災害の復旧工事を題材にした絵が多かった。 6. 期待される効果 (実施結果：効果) 写真と違って、図画を描いている時間は長く、その間は土木と対峙している。社会インフラの必要性や、こんな大きなものをどうやって作ったのだろうなど、子供なりに思いめぐらせ、土木に親しみを持ち、将来、街をデザインするような人になりたいというような希望を持ってほしいと考える。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 8. その他 カレンダー添	<p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">参加費無料</p>

【写真】



*審査会 10/5 (広島市立東野小学校) *展示会 11/2~11/11 (広島市まちづくり交流プラザ)



*表彰式 11/10 (広島市まちづくり市民交流プラザ) *表彰式 12/9 (イオン松江)



*展示 12/4~3/17 (広島県立図書館) *2019年カレンダー(副賞)と参加賞(消しゴム)

(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木学会 夏休み親子見学会
<p>1. 実施時期 平成 30 年 7 月 21 日 (土) 参加費無料</p> <p>2. 実施場所 静岡仁摩道路宅野トンネル工事 (島根県大田市仁摩町宅野地内)</p> <p>3. 対象者 (参加者数) 23 名 (こども 12 名 大人 11 名) 中型バス 1 台</p> <p>4. 共催・単独等の状況 主催: 公益社団法人土木学会中国支部 共催: 一般社団法人日本建設業連合会 後援: 国土交通省中国地方整備局・島根県・大田市教育委員会 協力: 大成建設</p> <p>5. 事業等の内容 工事概要の説明・トンネル工事について・現場見学・集合写真撮影</p> <p>6. 期待される効果 普段は見ることのできない工事過程や先端技術を見学して土木技術の関心を高め、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考える。また、夏休みに親子で仕事現場を見学することにより、キャリア教育の一環としてもとらえる。人の暮らしを支える社会資本整備をする建設業の魅力を発見し、将来、土木技術者を目指すような夢を与える。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 参加者の募集についての広報…教育委員会を通して周知をしたので、集まった。</p> <p>8. その他</p>	

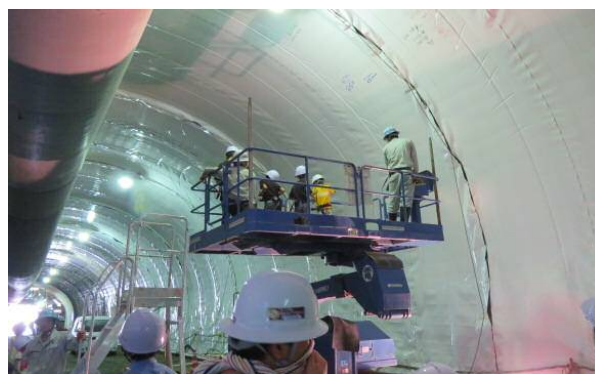
【写真】 H30 土木学会『夏休み親子現場見学会』平成 30 年 7 月 21 日（土）



静間仁摩道路宅野トンネル工事：集合写真



工事の説明



高所作業車でトンネル内にお絵かき



トンネル内見学



切羽での穿孔機 試乗

(別添様式 1)

平成 30 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要
機関・団体等の名称

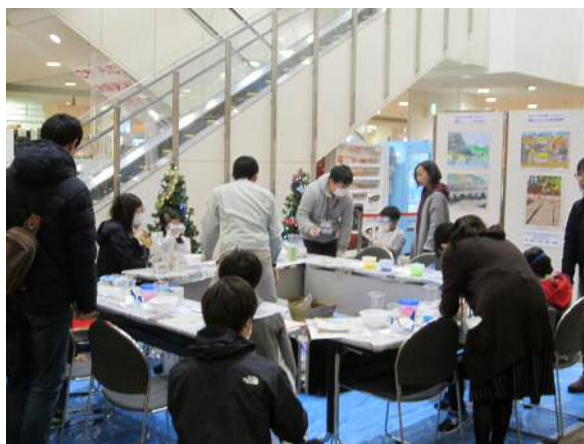
公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木学会 土木実験教室 in 松江
1. 実施時期	平成 30 年 12 月 9 日 (日) 参加費無料
2. 実施場所	イオン松江 (島根県松江市東朝日町 151)
3. 対象者 (参加者数)	幼稚園児から小学生まで約 50 名 50 名
4. 共催・単独等の状況	主 催：公益社団法人 土木学会中国支部
5. 事業等の内容	休日のショッピングセンターのイベント広場にて、速乾性のセメントを使って「ペン立て」を作製し、水、セメントを練り混ぜ自分たちでセメントペー ストを作ることによって性状、特徴を理解する実験教室を開催した。ホワイトセメ ントにカラフルなチョーク粉を混ぜて、プラカップに入れ形成し、20 分程度 で完成。形成硬化までの待ち時間に、セメントやコンクリートについて学ん だ。
6. 期待される効果	自然現象や土木施設を造る技術は「理科」の応用で、実際に作ったり、 触ったり、観察することによって土木について興味がわくのではないかと 思う。コンクリートを作ることにより、土木に親しみがわく。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	

【写真】： 土木実験教室 in 松江



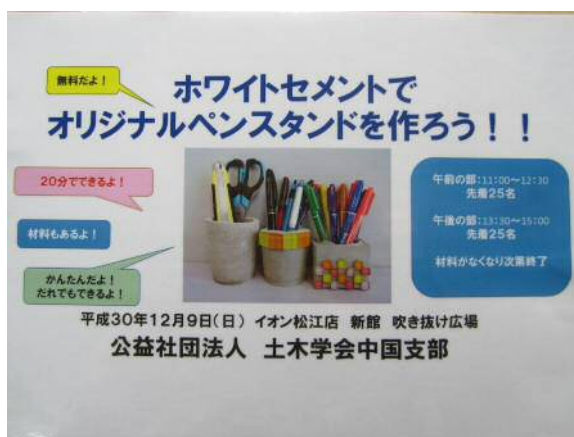
工作の様子



工作の様子



工作の様子



館内チラシ

(別添様式1)

平成30年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要
機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木ツアー
1. 実施時期 平成30年7月28日（土）	参加費無料
2. 見学場所 鳥取西道路 内海中常松トンネル（鳥取県鳥取市気高町下坂本）	
3. 対象者（参加者数） 小学生の親子 56名	
4. 共催・単独等の状況 主 催：公益社団法人土木学会中国支部・鳥取県 後 援：鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会 協 力：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所	
5. 事業等の内容 工事概要説明・トンネル施工方法説明・切羽見学・集合写真撮影	
6. 期待される効果 普段は見ることのできない工事過程や先端技術を見学して土木技術の関心を高め、建設業の社会的使命やその活動の実態、さらには社会資本整備の必要性について考える。また、夏休みに親子で仕事現場を見学することにより、キャリア教育の一環としてもとらえる。人の暮らしを支える社会資本整備をする建設業の魅力を発見し、将来、土木技術者を目指すような夢を与える。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	

【写真】 土木ツアー



↑ 入構
↓ 舗装の施工方法説明



↑ ヘルメット配布
↓ 内海中常松トンネル概要説明



↑ 鉄筋結束体験



↑ バイブレーターの振動具合を確認



← 集合写真

(別添様式1)

平成30年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	どぼくカフェ
1. 実施時期	どぼくカフェ 1. 実施時期 平成30年7月28日(土) 参加費無料 2. 実施場所 イオンモール鳥取北店(鳥取県鳥取北町晩稲) 3. 参加者(参加者数) 約130名 4. 共催・単独等の状況 主 催: 公益社団法人土木学会中国支部・鳥取県 後 援: 鳥取県教育委員会 協 力: イオンモール鳥取北店 5. 事業等の内容 「どぼくカフェ」とは、街中のオープンな場所で、土木に関連つけたテーマで土木技術者からの発信ではなく、一般市民からの新しい切り口で土木を語りイベントです。今回は、「趣味は、道路めぐり」と題して実施。 何気なく見ている道路標識にもよく見れば違いがあり、面白さを発見するトークイベント。そのほか、道路標識の展示・身近な土木を描いてみよう図画コンクールの優秀作品の展示。 6. 期待される効果 トークを聞いた後では、道路標識を見る目が変わり、土木に親しみを感じる。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 8. その他

【写真】 どぼくカフェ



(別添様式1)

平成30年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

公益社団法人土木学会中国支部

事業等の名称	土木学会インフラツーリズム ～今福線の鉄道遺産をめぐる～
1. 実施時期	平成30年11月23日(金) 参加費無料
2. 実施場所	新旧今福線の橋梁・トンネル群(島根県浜田市)
3. 参加者(参加者数)	浜田市内の小学生の親子8組含む24名
4. 共催・単独等の状況	主 催: 公益社団法人土木学会中国支部 後 援: 国土交通省中国地方整備局・島根県・浜田市教育委員会 協 力: 今福線を活かす連絡協議会(浜田市産業経済部観光交流課・佐野宇津井まちづくり推進委員会今福線部会)
5. 事業等の内容	戦前と戦後の2度にわたって建設されながら、工事が中止され実現しなかった幻の広浜鉄道、今福線の鉄道遺構をめぐる。電車が走る予定だった道やトンネル内を歩き、巨大な橋脚だけがひっそりと立ち並ぶ谷合や、コンクリートのアーチ橋群を見学した。また、当時の道具や、鉄道遺構を地域資産として保存活用を図っている地域の活動も見学した。
6. 期待される効果	安全で豊かな生活を支えるインフラについて考えながら公共施設を見学するインフラツーリズム。小学生の親子を対象に、歴史的土木構造物をめぐる、先人達の国土づくりや地域の発展に対する思いを感じるとともにその技術を学び、土木に対する関心を高め、建設業の社会的使命や社会資本整備の必要性について考えた。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	

【写真】 インフラツーリズム

